

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ホームセンターコーナン日根野店	階数	地上1F
建設地	大阪府泉佐野市日根野	構造	S造
用途地域	準工業地域、法22条区域	平均居住人員	0人
地域区分	6地域	年間使用時間	5,300時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年12月 予定	評価の実施日	2022年7月8日
敷地面積	19,305 m <sup>2</sup>	作成者	茶谷 亜彦
建築面積	7,442 m <sup>2</sup>	確認日	2022年7月8日
延床面積	7,257 m <sup>2</sup>	確認者	松本 宏一



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算 ★★★★★

30% ☆☆☆☆ 60% ☆☆☆ 80% ☆☆☆ 100% ☆☆ 100%超: ☆

①参照値 100%  
②建築物の取組み 78%  
③上記+②以外の 78%  
④上記+ 78%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質 Qのスコア = 2.9**

#### Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.9

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.2

#### Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.8

**LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.0**

#### LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.2

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.8

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>	・低層の建物とし、敷地の有効活用と駐車場、駐輪場を確保するとともに周辺環境の向上に配慮した。	<b>その他</b> ・特になし
<b>Q1 室内環境</b>	・空調が非効率的にならない様に室内機や換気扇の位置を検討し、売場の室内環境の向上に努めた。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> ・歩行者用通路を設け、外部からの車両出入り口を複数ヶ所設けるなど、渋滞が発生しないよう、周辺環境の安全性にも配慮した。
<b>LR1 エネルギー</b>	・利水の活用及び省エネ法で要求される基準を最低限確保した。	<b>LR3 敷地外環境</b> ・条例等で必要な駐車・駐輪スペース以上を確保した。また施設内への車の出入りの際、周辺交通に影響を与えないよう配慮した。
<b>Q2 サービス性能</b>	・バリアフリー新法に準拠し、売場内の天井高を3.98mとすることにより、開放性・快適性のある店内空間となるよう配慮した。	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>	・衛生機器については、節水型の機器を採用し水資源の節約に配慮した。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R4-0045

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)ホームセンターコーナン日根野店					
	建設地	大阪府泉佐野市日根野					
	用途/区分	物販店					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+	
①	CO2削減					4	
②	みどり・ヒート アイランド対策					2	
③	建物の断熱性					1	
④	エネルギー削減					4	
⑤	自然エネルギー直接利用					—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

## エネルギー消費量の報告

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.8	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	1.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	1.0	1
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	4.2	4
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

【その他】		
	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		